



◀能代市の須藤幸紀教育長へ贈呈



管内の小学校へ教材を寄贈

金融共済部

J Aでは4月19日、管内の小学校14校と特別支援学校1校に、くらしと農業の関わり、また米をはじめとした農畜産物の生産をテーマとした『農業とわたしたちのくらし』の教材本とDVDを贈呈しました。

教材の内容は5年生児童を対象に作成され、生活を維持するために必要な「食」とこれを生み出す「農業」、「環境」と「農業」のかかわりなどについて写真やイラストを使ってわかりやすく説明しています。

この取り組みは平成20年度に始まり、今年で9回目を数えます。教材は今後、社会科や総合的な学習の時間などで活用される予定です。



▲藤里町の浅利美津子教育長へ贈呈

地域一体で能代工業バスケットボール部を応援

J Aあきた白神

全国制覇を目指す能代工業高校バスケットボール部を応援しようと、J Aと能代市は同部の寮生と下宿生に向けて、1人あたり60kg分の「J Aあきた白神米」を寄贈しました。

この取り組みは「バスケの街づくり」の一環として行われており、平成24年度から始まり今年で5年目となります。贈呈にあたり佐藤組合長は、「粘り強いあきたこまちを食べて、試合でも粘り強く戦い、日本一を目指してほしい」と激励しました。部員代表の山田柗人主将からは「頂いたお米をしっかり食べて、それを力にして能代市に恩返しをしたい」と誓ってくれました。



▲能代工業高校バスケットボール部へあきた白神米を寄贈



▲1本1本手で折っての作業となる

初出荷に向け理解を深める

りんどう部会

りんどう部会（菊地昇一部会長）は4月15日、能代市山谷地区と藤里町の圃場で間引き現地講習会を開催しました。

生産者やJ A、地域振興局職員など約20人が参加した講習会では、整芽の時期を迎えたりんどうの間引き方法について説明を受けました。この間引き作業は、密植したりんどうの茎を減らし、全体の太さと長さを揃えることにより収穫や選別の作業がスムーズになるだけでなく、受光体勢がよくなり、より美しいりんどうが育ちます。今年度初出荷となる生産者をふくめ部会員全員で、高品質のりんどう栽培について理解を深めました。

